



2024年3月15日

各位

会社名：株式会社SKIYAKI
代表者名：代表取締役社長 小久保 知洋
(コード番号：3995 東証グロース)
問合せ先：取締役 酒井 真也
(TEL. 03-5428-8378)

通期業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2023年12月13日に公表しました2024年1月期（自2023年2月1日至2024年1月31日）の通期業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年1月期の通期業績予想と実績との差異（2023年2月1日～2024年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,661	百万円 305	百万円 335	百万円 200	円 銭 18.52
実績値（B）	2,751	373	390	230	21.37
増減額（B－A）	90	68	55	30	2.85
増減率（％）	3.4	22.3	16.4	15.0	15.4
（ご参考）前期実績（2023年1月期）	2,454	225	236	54	5.07

2. 差異の理由

前回発表の業績予想（2023年12月13日）に対し、ストック収益（ファンクラブサービス）及びフロー収益（ECサービス等）ともに実績が好調に推移したため、売上高は前回発表予想比で90百万円増加の2,751百万円となりました。

営業利益については、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費である人件費が想定よりも減少した影響等により、業績予想比で68百万円増加の373百万円となりました。

経常利益については、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益25百万円、株式報酬費用消滅損9百万円等を計上した影響により、業績予想比で55百万円増加の390百万円となりました。

また、特別利益として貸倒引当金戻入額25百万円、関係会社株式売却益22百万円、持分変動利益11百万円を計上し、特別損失として貸倒引当金繰入額29百万円（前回発表予想時に計上済みの金額を控除後）、投資有価証券評価損41百万円及び関係会社株式売却損36百万円等を計上した影響により、親会社株主に帰属する当期純利益は、業績予想比で30百万円増加の230百万円となりました。

3. 特別損失（貸倒引当金繰入額、投資有価証券評価損及び関係会社株式売却損）の内容

当社が特定の取引先に対して保有する未収入金の一部について、回収可能性に疑義が生じたため、貸倒引当金繰入額 29 百万円を特別損失に計上いたしました。

また、当社が保有する投資有価証券（その他有価証券）の一部について、取得価額に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損 41 万円を計上するとともに、当社が保有する関係会社株式の譲渡に伴い、関係会社株式売却損 36 百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上